

クラス	507	担当教員	にし むら かず ひこ 西 村 一 彦
	テーマ	データを採って分析する	
	著書・論文 研究課題等	環境経済の理論と実践 オーム社 環境・資源問題、技術システム、イノベーション	
ゼミナール 概 要			
キーワード： 調査、分析、統計			
目的、内容、方法等： 経済学には理論と実証の 2 つのアプローチがあるが、本ゼミナールでは、実証研究を中心としたアプローチを修得することを学習目標としている。 まず、テーマにしたがって、データを採取することが重要である。テーマは学生の興味や時勢に即したものを選ぶが、これまでは、ため池の魚類調査、水質調査、経済価値の測定、あるいはタイ紅茶やウェイプフルボールのマーケティングなどを扱ってきた。分析手法は、問題意識にしたがってモデル化を行い、データを各自で採取し、それを統計的に処理することで、実証分析を行っている。 授業計画： 2 年次にはテーマの設定と既存研究のサーベイを行います。論文等を読み、ゼミにおいて自分の言葉で発表します。データ収集も適宜行います。3 年次には本格的なデータ収集を行い、統計的な分析を学びます。4 年次には卒業研究論文が課されます。			
使用テキスト		担当教員からのメッセージ	
各自が自分で選びます。		アルバイトや部活を優先する者を全く歓迎しない。 研究に情熱を傾けられる人を求めています。	